

新潟市歴史資料だより

資料紹介

上木戸 鈴木家文書

鈴木家文書は、江戸時代中期から昭和期までの約2,900点の文書です。江戸時代に上木戸村の名主を勤めた今井家の文書と明治以降の区有文書からなります。文書には、寛延2（1749）年から幕末に至る御用留帳（領主と村の間でやりとりした文書などを写した帳面）や通船川周辺の交通関係の資料などがあります。

掲載した文書は、宝暦4（1754）年に上木戸村の村役人から大庄屋所に出された、川原の土地2反歩（約20アール）を^{まくさば}秣場にしたいという願書です。享保16（1731）年、松ヶ崎堀割が阿賀野川の本流（旧本流は後の通船川）になると、北国街道の経路が変

わりました。沼垂から上木戸、海老ヶ瀬を通して津島屋で阿賀野川を渡る経路になり、沼垂と津島屋のほぼ中間に位置する上木戸村は、寛保2（1742）年に継所に指定されました。継所とは、街道を往来する人々が馬や乗り物を乗り換え、荷物を積み替える場所で、必要な人足と馬を常備していました。

この文書によると、上木戸村では馬の^{まこも}餌の刈る場所がなく、困っていたようです。継所に指定された年に秣場の設置を願った際には、適当な場所ができたら再願するようと言われていました。宝暦4年、村前の川原（洲）に真菰が生えるようになったので秣場にしたいと願い出て、認められます。また、6年後の宝暦10年には、さらに川に寄り付いた洲2町歩（約2ヘクタール）を秣場にしたいと願い出ています。



明治17（1884）年の上木戸村周辺（平凡社『新潟県の地名』添付地図より）



乍恐以書付奉願候

一 式反歩 当村前川原先キ真菰生并水面共
（貼紙「御地外銭四百文」 此度秣場奉願候

右者、当村御野直場川欠ニ罷成候跡江

水河原出来、少々真菰生ニ罷成候間、

当村往来馬秣場無御座、迷惑仕候二付

（貼紙「寛宝（保二）」

奉願候、戌年以書付秣場奉願候処、

場所茂無之由二而、宜敷場所茂有之候ハ、

追而御願申上候様被仰付置候二付、此度

（貼紙「御地外銭を以」

奉願候、以御慈悲願之通被仰付被為下

候ハ、村中一同難有可奉存候、以上

上木戸村百姓惣代

新七

同村同断

吉助

同村組頭

四郎兵衛

同村同断

喜之助

同村名主

藤四郎

大庄屋所

宝暦四戌年七月

歴史資料のマイクロフィルム撮影から 複製本の作成まで

歴史資料整備室では、新潟市史編さんの際に収集した資料や、寄贈資料などをマイクロフィルムに撮影し、その焼付を製本して複製本（簿冊）を作成する事業を行っています。これは資料の保全と、資料を利用する際の便宜を図るためです。撮影から複製本の作成までの作業について紹介します。撮影と焼付作業は専門業者への委託です。

撮影は、自然光や部屋の照明の影響を受けないように暗幕を張って行います。また、資料と一緒に資料名や資料番号、ページ数が書かれた紙片も写して、何を撮影したのか分かるようにします。1カット目には資料の大きさが分かるように、スケールも入れて撮影します。資料が長くて複数カット撮影する場合は、文書のつながりが分かるように、数行が重複するようにします。また、資料が冊子になっている場合は、見開きごとに撮影します。資料によって紙の色が違うので、文字を見やすくするために、資料ごとに照明を調節します。

複製本は、利用しやすいように、1冊80ページくらいにして製本し、収載した資料の一覧表（目次）を付します。資料の閲覧・複写には、原則的に、このようにしてできた複製本を利用します。



マイクロフィルム撮影の装置



マイクロフィルムと複製本

歴史資料に関する主な事務内容

■資料の公開

歴史資料整備室では、古文書等の複製資料や図面・写真、行政刊行物などを公開しています。旧更正図は横越公文書分類センター（江南区役所横越出張所3階）で公開しています。横越センターをご利用の際には、事前に歴史資料整備室へご連絡ください。どちらも1枚10円（カラーは70円）で複写（コピー）できます。

■資料の整理・保存

歴史資料整備室では、新潟市史編さんで収集した資料や寄贈資料等の整理を行っています。

また、資料のマイクロフィルム撮影と焼付による複製本を作成しています。今年度は、豊栄市役所文書（江戸期から昭和期の資料、市指定文化財）の複製本を作成しています。

■資料の所在調査

民間に収蔵されている歴史資料の所在や現況・分量などを把握するため、平成17年度から合併市町村を対象に資料の所在調査を実施しています。今年度は秋葉区の新津地区と南区の味方地区の調査を予定しています。目録がないものは、一部を整理して記録します。また、必要に応じて資料を中性紙封筒に入れたり、中性紙箱に入れたりします。

■土地登記申請書（副本）の整理

横越公文書分類センターでは、資産税課所管の土地登記申請書（副本）の整理作業を実施しています。これにより、大正から平成に至る市内の土地の分筆・合筆等の異動について、年代や字名ごとに検索できるようになります。

■歴史講座「古資料が語る新潟の歴史」の開催

歴史資料を読み解きながら新潟の歴史を学ぶ、歴史講座「古資料が語る新潟の歴史」を10月7・14・28日、11月4日の全4回、新潟市生涯学習センター（クロスパルにいがた、中央区礎町通3）で開催します。詳しくは歴史資料整備室までお問い合わせください。

■歴史双書の刊行

「新・新潟歴史双書」の第6巻目として、今年度は『新潟砂丘』（仮称）を刊行します。四六判、約160ページ、平成23年3月刊行予定です。

■黒崎市民会館歴史展示コーナー

黒崎市民会館（西区鳥原）の1階ロビーに黒崎地区の歴史を紹介する小展示コーナーがあります。11月から「黒崎の先人」の展示を行います。

歴史文化施設紹介

—重要文化財 旧笹川家住宅—

旧笹川家住宅は、村上藩味方組の大庄屋笹川家の屋敷です。江戸時代、村上藩は領内の村をいくつかの組に分け、組ごとに大庄屋を置いていました。笹川家は、味方村、木場村、黒鳥村など8か村からなる味方組の大庄屋でした。

屋敷は江戸時代後期の文政年間（1818～30）に建てられたもので、表門、表座敷、居室部、奥土蔵、米蔵などからなります。昭和29（1954）年に表門、表座敷などが国の重要文化財に指定されました。45年に旧味方村に移管され、53年に米蔵、井戸小屋などが重要文化財に追加指定されました。壮大な敷地と威風堂々たる建物のたたずまいからは、往時の大庄屋の力が窺えます。

敷地内には、旧味方村出身の名誉市民、曾我量深と平澤興の功績を紹介する「曾我・平澤記念館」があります。こちらも是非ご覧ください。

〈案内〉

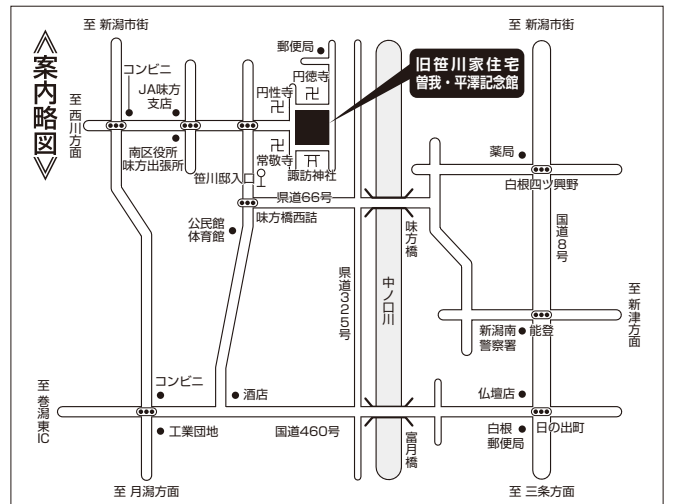
- ・開館時間：午前9時～午後5時
- ・休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（土曜日が祝日の場合は火曜日）、12月28日～翌年1月3日まで
- ・入館料：大人（高校生以上）500円、小・中学生300円、（団体20人以上は100円引き）。小・中学生は土日・祝日無料。曾我・平澤記念館と共通の入館料です。
- ・所在地：新潟市南区味方216
- ・電話：025-372-3006
- ・交通：JR新潟駅前（万代口）バスターミナルから湯東営業所行き、または月潟行きバス乗車。バス停「笹川邸入口」下車。徒歩3分。



重要文化財 旧笹川家住宅



表座敷（手前から広間、三の間、二の間）



写真紹介

西堀の移り変わり

「堀と柳の都」と言われた新潟には、かつて多くの堀がありました。明治初期の資料によれば、30近くの堀があり、百数十の橋が架かっていました。堀の両岸には柳をはじめとする樹木が植えられました。人々は堀で米を^とぎ、野菜や食器を洗いました。また、堀を行き交う舟は米や野菜など様々な物資を運びました。堀は人々の生活に密着した欠かせない存在でした。

西堀は江戸時代には寺町堀と呼ばれていましたが、明治5（1872）年に改称されました。人々の屋敷地と、県庁や寺とを画する堀で、幅は4間（約7.2メートル）でした。西堀と両岸の柳並木は新潟を象徴する景観で、多くの絵はがきが作られました。

写真1 西堀通5・6番町付近です。左の建物は当時の県庁で、この場所には現在NEXT21と三越が建っています。手前の橋は光林寺門前の橋で欄干がありません。奥の橋は県庁に通じる橋で欄干があります。右側の岸では木製の板による護岸工事が行われています。県庁の前には街灯と高札場が見えます。

写真2 西堀通4番町付近です。護岸は石積みに変わり、所々に^{こうど}河渡（堀で野菜や食器を洗ったり、舟の荷を積み下ろしたりする所）が作られています。岸にはこやし舟が^{つな}繋がれ、柳の下にはスイカが並べられ、^{てんびん}天秤棒を担いだ人もいます。「柳の新潟」と題された絵はがきです。

写真3 西堀通8番町付近です。堀の幅が狭くなっています。また、排水管の敷設工事が行われています。昭和30年代、堀の水が流れず不衛生なことや、増大する自動車交通に対応するため、堀の埋め立てが求められました。市は39年に開催される国体に向けて、すべての堀を埋めることにしました。西堀の存続を求める運動もありましたが、埋め立て工事は37年12月から始まり、39年5月には完了しました。

お願い

歴史資料の所在調査を実施しています。江戸時代や明治～昭和期の文書・写真、戦中・戦後の記録などがありましたら、ご連絡ください。また、お持ちの古文書等の保存方法についての心配ごとがありましたら、歴史文化課までお知らせください。



写真1 明治初期の西堀



写真2 大正期から昭和前期の西堀



写真3 昭和38（1963）年頃の西堀

編集・発行 新潟市文化観光・スポーツ部
歴史文化課（担当：歴史資料整備室）
〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目425-9
TEL 025-226-2584
FAX 025-230-0412
Eメール rekishi@city.niigata.lg.jp